

原発撤退決断のとき

大飯 3, 4 号再稼働で 激しいせめぎ合い

全国の原発は 26 日未明の東電・柏崎刈羽原発(新潟県)の停止と 5 月 5 日の泊原発(北海道)の定期検査ですべて止まります。この中で政府・関電は、福井県・大飯原発 3, 4 号機を再稼働の突破口にしようとしています。政府は再稼働にのめりこんで原発に固執する態度をやめ原発からの撤退を決断すべきです。

■ストレステストで安全確認されぬ

枝野幸男経産大臣「ストレステストをやったから安全性が確認される訳ではない」
班目春樹原子力安全委員長「(1 次評価では)総合的安全対策としては不十分」

いずれも参院予算委での井上哲士議員への答弁(3 月 9 日)

■再稼働反対で意見書

滋賀県議会 福島原発事故の原因究明がなされていない中での、福井県に立地する定期検査中の原発再稼働を認めないことを求める意見書(全会一致、3 月 23 日)

福井県越前市議会 大飯 3, 4 号機の拙速な再稼働に反対する意見書。原発事故の原因を中立的立場で徹底的に解明する▽原発事故を防げなかった責任の所在を明らかにするなど 5 項目(全会一致、3 月 19 日)

■再稼働反対緊急福井集会に 700 人

京都、滋賀などからも参加

関電大飯原発 3, 4 号機の再稼働に反対する福井緊急集会が 25 日、福井市内で開かれ 700 人が参加。京都から京都総評、新婦人、革新懇の代表や府議ら、滋賀から湖南市の住民など近畿からも参加しました。原発反対福井県民会議の主催。集会では中野哲演代表(写真後ろ姿)が「大飯 3, 4 号機の再稼働が一点突破されれば、各地の原発群がなし崩しに再稼働される。断じて認められない」とあいさつ。再稼働反対意見書が全会一致で可決された越前市議会議長のメッセージが紹介されました。参加者は降り出した雨の中、市内をパレードしました。



■党京都府委、府議団が関電支店に申し入れ

23 日に行われた申し入れでは、▽ストレステストで原発の安全は保障されない▽大飯原発の近辺には多数の活断層が走っている▽断層が連動した場合、関電が限界と評価した強さの揺れに見舞われる危険があり連動性の調査が行われているなどと指摘。危険な原発の再稼働は絶対に認められない、とのべています。やりとりの中で高浜原発では昨年、政府が電力会社に求めた緊急安全対策のうち、防潮堤の設置も行われていないことが明らかになりました。

●福井原発大事故時の大阪の被ばく想定 大阪府が公表(16日) 昨年3月6日の気象条件で高浜原発で事故が発生した場合、屋内退避が必要な100³シーベルト以上が能勢町付近。大飯原発の場合は安定ヨウ素材の服用が必要な50~100³シーベルト未満が高槻市から富田林市付近

●高浜原発事故時の放射性物質拡散予測 京都府が発表(23日) 京都府が、高浜原発が福島原発と同様の事故を起こした場合の拡散予測を発表。放射性ヨウ素の拡散により屋内退避基準(50~500³シーベルト)に達するのは国が予定する重点防災区域(30³)を超え 50³以上遠も。右京区、亀岡市も対象

●原発をめぐる近畿・福井の動き

2. 15 吉井衆院議員が予算委で「コンピューター解析だけでなく、大型振動台を使った実証実験での確認が当然。実証実験もなくストレステストの名に値しない」と再稼働に道理なしを明らかに

2. 20 関電高浜3号機が定期検査入り。関電の11基、中部、北陸以西の西日本の原発はすべて停止。全停止は33年ぶり

班目原子力安全委員長がストレステストについて「1次評価だけでは安全性の評価が不十分。2次評価まできちんとやってほしい」とのべた(記者会見)

関電・八木社長「電力の安定供給には危機的状況」「火力発電所には故障のリスクもある」「綱渡りだ」(記者会見)

立石京都商議所会頭「実際がどうなのかデータを積極的に開示すべきだ。そうでないと節電要請に対する危機感が高まらない」

2. 24 おおい町長が「年度内に再稼働の可否を判断するのは難しい」と表明(朝日新聞のインタビューで)

2. 27 関電・八木社長が冬の節電要請終了(3月23日)後、春も節電要請を行うことを表明。数値目標は定めず

3. 1 福井県議会 日本共産党・佐藤議員が知事に大飯3, 4号機の再稼働に同意しないよう求めた。知事は「ストレステストの結果だけを判断材料とするのは不十分」

3. 5 敦賀原発直下 M7. 4の恐れ 3. 5 敦賀原発の敷地内を通る浦底断層が少なくとも全長35キロあり、従来の想定の上の2倍以上のエネルギーの地震を起こす可能性があることが産業研究所の主幹研究員の調査で判明

「全基廃止可能性も 原発の設置場所としての確かかどうかを検討すれば、1, 2号機と安全審査中の2機は廃止となる可能性がある」「原発敷地内に活断層があるという状況を放置してきた国の責任も重い」(「京都」3. 6)

3. 7 大飯再稼働まず国が判断(枝野経産相が「読売」インタビューに答える)

3. 9 日本共産党・井上哲士参院議員が、予算委員会で原発再稼働について「事故原因究明なしの見切り発車は許されないと追及。枝野経産相が「ストレステストをやったから、それだけで安全性が確認されるものでない」と重大答弁

3. 11 東日本大震災・原発事故1年 原発ゼロへ各地で集会

3. 13 原子力安全委の検討会が保安院の「妥当」判断を確認。「地元理解」などを経て首相・関係閣僚が判断へ

3. 14 福井・西川知事「県議会や原発の安全に責任を持ってきた関係市町の考え方を整理し、私が判断する」(14日、県議会)

3. 15 日本共産党・志位委員長が「新たな安全神話に立った原発再稼働の押し付けやめよ」との談話を発表

3. 16 藤村官房長官が地元同意に滋賀県を含めない考えを表明

滋賀・嘉田知事 藤村発言に憤りを示し、「県民の命だけでなく、(琵琶湖という)関西の水源を預かる立場として、再稼働には(滋賀県への)説明や同意が必要だ」(16日)

橋下大阪市長 地元同意を求める場合について「福井県だけで収まらない。今の日本の状況でそんな理屈は通用しない」

大阪府が大飯原発大事故時の大阪の被ばく想定を公表

3. 19 福井県越前市議会が大飯原発3, 4号機の拙速な再稼働に反対する意見書を可決。県内では初

3. 22 国の原子力防災指針の見直し案を原子力安全委員会が了承。重点防災地域を30キロ圏に拡大
原子力研究開発機構が「ふげん」廃炉が5年遅れになることを発表。最終的な廃炉完了は2033年度に

3. 23 滋賀県議会が定期検査中の福井県内の再稼働を認めないことを求める意見書を全会一致で可決

3. 24 京都府が、高浜原発で福島原発事故と同様の事故が起きた場合の放射性物質拡散予測を発表。放射性ヨウ素の拡散で屋内退避が必要になる区域が50キロを超えることが明らかに